この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平30情複、　第1464号）

湧別川　洪水ハザードマップ

この洪水ハザードマップは、湧別川が氾濫した場合の浸水想定区域と浸水深、洪水時に使用する避難所を掲載し、町民の皆さんの避難に役立つよう作成した地図です。
左の地図（計画規模）は、計画規模降雨（100年に1回程度起こる大雨）による洪水状況と避難所を表示したものです。右の地図（想定最大規模）は、想定最大規模降雨（1,000年に1回程度起こる大雨）による洪水状況と避難所を表示したものです。

町は、計画規模の洪水（左図）を前提とした避難体制を基本としますが、状況により、想定最大規模の洪水（右図）に対する避難体制に移行する場合がありますので、マップ上に記載している注意事項などに十分留意してください。

計画規模

この洪水ハザードマップには、湧別川が 100 年に 1 回程度起こる大雨（計画規模）により氾濫した場合の浸水が予想される区域と浸水の深さを表示しています。計画規模の降雨は下表のとおりです。

河川名	計画規模の降雨量
湧別川	124mm（12 時間）

マップから洪水の知識を身に付け、危険が予想されている場合は早めに安全な場所へ避難しましょう。なお、避難所については洪水災害に対応した避難所について記載しており、地震災害や土砂災害に対応した避難所、公園等の屋外の避難場所については、別にお配りしている「防災ハザードマップ」によりご確認ください。

お問い合わせ先
湧別町総務課　2-2112

想定最大規模

この洪水ハザードマップには、湧別川が 1,000 年に 1 回程度起こる大雨（想定最大規模）により氾濫した場合の浸水が予想される区域と浸水の深さを表示しています。想定最大規模の降雨は下表のとおりです。

河川名	想定最大規模の降雨量
湧別川	283mm（12 時間）

マップから洪水の知識を身に付け、危険が予想されている場合は早めに安全な場所へ避難しましょう。なお、避難所については洪水災害に対応した避難所について記載しており、地震災害や土砂災害に対応した避難所、公園等の屋外の避難場所については、別にお配りしている「防災ハザードマップ」によりご確認ください。

お問い合わせ先
湧別町総務課　2-2112

CUDマークはNPO法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された印刷物、製品等に表示できるマークです。

浸水深の目安

10.0m
5.0m ～ 10.0m 未満
5.0m
3.0m ～ 5.0m 未満（2 階浸水）
3.0m
0.5m ～ 3.0m 未満（1 階床上浸水）
0.5m
0.5m 未満（1 階床下浸水）

浸水想定区域について

この浸水想定区域は、想定した複数の堤防が決壊した場所それぞれの浸水する区域と浸水の深さを重ね合わせたものです。堤防が決壊した場所によって、浸水する区域と浸水の深さが変わりますので、マップに示す浸水する区域が同時に浸水することはありません。

浸水にあたっては、想定を超える降雨、内水による氾濫は考慮していませんので、この浸水する区域以外でも浸水が発生する場合や、想定される浸水の深さが実際の浸水の深さと異なる場合がありますので注意してください。

凡例

- 避難場所
- 要配慮者利用施設※
- 医療機関
- 国道
- 道道
- 自治会線

※要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮が必要な方が利用する施設です。

- 土砂災害危険箇所：土石流危険渓流
- 土砂災害（特別）警戒区域
  - 赤：特別警戒区域
  - 黄：警戒区域
  - 土石流
  - がけ崩れ
  - 地すべり

避難場所マークについて

- 指定緊急避難場所：危険が切迫しているときに逃げる避難場所
- 指定避難所：自宅が被災した時などに避難生活を送る場所
- 指定緊急避難場所と指定避難所の両方を兼ねている場合の記号
- 福祉避難所：障がい者などの要配慮者が安心して生活できる避難場所

注意
「2 階以上」の表示がある避難所については、避難のための十分な時間が確保できない場合や浸水が始まった場合には、2 階以上への「垂直避難」が可能です。
また、「※」のついた避難所は、中土場川やサナブチ川の水位の状況によっては、使用できない場合があります。

0km　1km　2km
1:35,000